

薬事委員会記録

日 時：平成 27 年 12 月 3 日(木) 16 時 00 分

場 所：医学部 1 階 小会議室

出席者：伊藤、西垣(和)、諏訪、木村、山内、瀧上、江頭、川瀬、棚橋、加納、安田(満)、市川、田中、田辺、畠山、白上、荒木、吉田、大野、玉井、生熊、安田(浩)、鈴木、西垣(美)

代理出席者：古井〔婦人〕、坂田〔薬剤〕

委任状提出：加藤、久保田、南谷

欠席者：鶴見、村瀬、山口、山本、長瀬、紀ノ定、堀川、村上、折居、酒々井

記録の承認

平成 27 年 9 月 3 日開催の薬事委員会の記録を承認した。

協議事項

1. 医薬品の採用について

10 品目（ジースタ皮下注 3.6mg、サイラムザ点滴静注液 100mg・同 500mg、スプレキユア MP 皮下注用 1.8、ドキシル注 20mg、ミレーナ 52mg、ベリプラスト P コンビセット組織接着用 1mL・同 3mL、大塚生食注 2 ポート 100mL、マグネスコープ静注 38%シリンジ 15mL）の採用を承認した。

2. 医薬品の継続試用について

12 品目（ミルセラ注シリンジ 150 μ g、ザファテック錠 100mg、インスリングラルギン BS 注ミリオペン「リリー」、ビーエスエスプラス 500 眼灌流液 0.0184%バッグ、ブイフェンドドライシロップ 2800mg、ミダフレッサ静注 0.1%、ガドビスト静注 1.0mol/L シリンジ 5mL・同 7.5mL・同 10mL、ツムラ治打撲一方エキス顆粒、メチレンブルー静注 50mg「第一三共」、レスピア静注・経口液 60mg）の継続試用を承認した。

3. 医薬品の新規試用について

7 品目（アブラキサン点滴静注用 100mg、ラジカット点滴静注バッグ 30mg、シンポニー皮下注 50mg シリンジ、イーケプラ点滴静注 500mg、タイロゲン筋注用 0.9mg、タケキャブ錠 10mg、オノアクト点滴静注用 150mg）について、申請診療科および薬剤部より説明された後、新規試用の承認可否について投票を実施した。その結果、原案通り全て承認された。なお、「ラジカット点滴静注バッグ 30mg」についてはオーダ時にメッセージによって筋萎縮性側索硬化症のみに処方するように警告することとした。

4. 医薬品の採用中止について

7 品目（ジヒデルゴット錠 1mg、ラジレス錠 150mg、オルベスコ 100 μ g インヘラー112 吸入用、スパニジン点滴静注用 100mg、ピーエヌツイン-3 号輸液 1200mL、注射用ビクシリン S500mg、ヘパトセーラ筋注 1000 単位/5mL）の採用中止を承認した。

報告事項

1. 院外採用医薬品に関する薬事委員会 WG での決定事項

①医薬品の院外採用について

14 品目（ソバルディ錠 400mg、ハーボニー配合錠、アテディオ配合錠、エクメット配合錠 LD、ライゾデグ配合注フレックスタッチ、ツムラ乙字湯エキス顆粒、プラケニル錠 200mg、イフェクサーSR カプセル 37.5mg・同 75mg、アボネックス筋注 30 μ g ペン、ビオチン・ドライシロップ 0.1%「ホエイ」、ハイゼントラ 20%皮下注 1g/5mL・同 2g/10mL、

カロナール錠 500) の院外採用が報告された。

②医薬品の採用中止について

19 品目 (セディール錠 10mg、ツムラ当帰建中湯エキス製剤、ビオチン散 0.2%「フソー」、カタリン K 点眼用 0.005%、サンテゾーン点眼液 0.1%、タチオン点眼用 2%、ムコソルバン錠 15mg、ムコソルバン内用液 0.75%、チスタニン糖衣錠 100mg、ムコダイン錠 500mg、ムコダイン DS50%、ムコダインシロップ 5%、ビスルボン錠 4mg、ビスルボンシロップ 0.08%、メプチン吸入液 0.01%、フルタイド 50 エアゾール 120 吸入用、パルミコート吸入液 0.5mg、キューバール 50 エアゾール、フルティフォーム 50 エアゾール 120 吸入用) の院外採用中止が報告された。また、「メプチン吸入液 0.01%」と「フルタイド 50 エアゾール 120 吸入用」については院内も採用中止であると報告された。

2. 採用変更医薬品について

1 品目 (ソルダクトン静注用 200mg) の採用変更が報告された。

3. 規格変更医薬品について

1 品目 (ビームゲン注 0.5mL) の規格変更が報告された。

3. 販売中止医薬品について

1 品目 (カナマイシンドライシロップ 20%「明治」) の販売中止が報告された。

4. 緊急購入医薬品の登録について

12 品目 (エネーボ配合経腸用液、オプスミット錠 10mg、ジアゾキシドカプセル 25mg、ソバルディ錠 400mg、ハーボニー配合錠、プリミドン細粒 99.5%「日医工」、レミッチカプセル 2.5 μ g、オルプロリクス静注用 1000 国際単位、トルリシティ皮下注 0.75mg アテオス、塩酸ピレンゼピン注射用 10mg「イセイ」、ベリナート P 静注用 500 国際単位、ラジカット点滴静注バッグ 30mg) の緊急購入の登録が報告された。

その他

1. 新システムにおける処方表記の変更点について

新システムでは処方入力時および処方箋に内服 1 日量に加えて、1 回量が括弧内に併記されるとの説明がされた。なお、オーダは従来通り 1 日量での入力とし、処方箋での表示のみ併記されると説明された。

2. 後発品切替に伴うトラブル事例について

先発品「ヴィーン F 輸液」の後発品である「ソリュージェン F 注」はボトル表面の加工処理の違いでラベルが剥がれやすいことが報告された。しかし、同一成分の他の後発メーカーの製剤についても同様にラベルが剥がれやすく、本院の後発品の処方割合は全国的に下位であることから、先発品へは戻さず、メーカーへの容器加工処理の改善依頼および本院のラベル製品の変更で対応することになったと報告された。

次回薬事委員会の開催日時は、平成 28 年 3 月 3 日(木)とした。